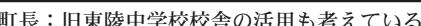
島 議員 般質 喜 の

地域防災計画の現状は



町長:旧東陵中学校校舎の活用も考えている

考えを伺う。 対策防災訓練は、 されたが、尻別川の水害 安町地域防災計画が策定 ②平成22年3月に、 回か地吹雪、暴風雪で、 ③豪雪地倶知安、 その対策について町長の やったことがないと思う。 行われている。 各幹線の通行止め規制が ついての避難所や今後の ホワイトアウト対策に 年に何 今まで

庁舎は、 使用可能な町有施設がな が高いこと、代替として いことから、 して使用できない可能性 ①防災拠点施設等 の整備として役場 防災活動拠点と 旧東陵中学

が、天候が悪化、また悪

通行止めや避難所開設等 防災行政無線等で道路の 化が予想された場合は、

情報を提供する。

②利用者の 乗車希望 日時

また、その選手に対

いる。 を備え、 民への貸し出し、 できる施設として考えて 防災訓練等を行うことが 練や宿泊体験型避難訓練、 等の訓練や研修、 倉庫や資機材庫等の機能 活動拠点となるよう備蓄 活用内容は、 平時には 災害時 自治会 図上訓 一般町

①地域防災センターとし

用構想について町長の考 ての旧東陵中学校跡の利 を守る大変重要なことだ

の備えが住民の命と財産 不思議ではないが、普段 災害が想定される。

知安地

方は、

風 水害・

> 雪 地

災害は、

いつ起きても

ている。 ワー等、 しては、 避難者が生活するための 化するための施設整備と 必要な施設整備を検討し 蓄倉庫の改造・改築等、 避難収容室や備 トイレ・シャ

② 現在、 ③ホワイトアウト対策だ いと考えている。 や実動訓練をしていきた いる。今後は、図上訓練 避難所の指定を見直して 浸水する想定地域にある 山川が氾濫をした場合、 その中で、 体の見直しを進めている。 町防災計画の全 尻別川と倶登

町長の考えを伺う。

交通規制をどうするのか

校校舎を活用することも

避難所機能を強

関係を持つ課題であるた 路線とじゃがりん号、 ものではなく、 の中で検討を図っていく。 域公共交通活性化協議会 ついての検討は、庁内は 整理と解決を図っていく。 を全体的にとらえ、課題 め スなど、それぞれが相関 字バス路線とスクールバ の課題が単独で存在する ①④増便やルート変更に 町長 本町の地域公共交通 関係機関や地 それぞれ 赤字バス 赤

情地 と域 公共 交通 の 実

を伺う。 ①現在の2系統から3系 地 5年経過した中じゃがりん号が 域公共交通の現状 じゃがり

デマンドでもいいと感じ ②農村部への乗り入れは 統への増便は。 ているが、そういう対応

ターであると考える。

が実現可能かどうか ④郊外大型店までの延 ③9名定員よりもう少 大きなバスの考えは。

となる。 民間業者の協力が不可欠 組みが必要となるため、 を受け付け、 対応する仕

マイクロバスでの運行が 時運行に支障を来すため、 が不便な箇所もあり、 ③中型バスでは取り ストではないが、

回し 定

ができないか。 伸 し

また、

だが、それ 0 現

スポー ツ振興基金

まで親しめるスポーツと して普及振興されてきて て以来、子どもから大人 の本 の町」宣言をし本町が「スキー

る環境づくりをしてあげ の子どもたちが羽ばたけ ることが必要だと思うが そういう中で、 長の考えを伺う。 倶知安

している。 在学中であることは承知 る選手が、倶知安高校に モーグルの競技で活躍す スキー・フリースタイル ルの選手として、 現 在 世 界

いる。 動きがあることも伺って である白樺会での支援 て、 倶知安高校の同窓会

策定し、 がら、具体的な支援策の市町村の例も参考にしな ていくことにもなるので、 ピックやワールドカップ を行うことはもちろん大 界 支援策を探っていくこと 金を創設し、その中から をもとにスポーツ振興基 ば、ふるさと応援寄附金 の財源として可能であ 検討を始めているが、 係諸団体と協議の上、 めたいと考えている。 今後、何らかの支援策を 成することにもつながっ このことは将来のオリン 切なことであり、また、 ている本町としても、 を目指す選手をさらに養 「スキーの町」宣 現在、教育委員会や の舞台で活 一つの方法ではな 選手に対して、 積極的に取り進 するス 言を そ 世 他関